

1 研究主題

進んで課題に取り組み 学びを深める児童の育成
— 課題づくり、視覚的表現物(思考ツール等)、振り返りを核にした授業改善 —

2 研究の具体

(1) 課題づくり (子どもの「～たい」から始まる)

学習課題4つの型

その1 「？」型

㊦ 太一の父は、どんな人物と言えるだろう。

その2 「追究・発見」型

㊦ 合同な三角形を書きたい。どうすればよいか。

その3 「数字・ゲーム」型

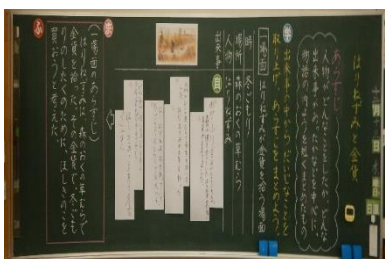
㊦ 先生の作文のまちがいを6つ見付け、正しく直そう。

その4 「立場」型

㊦ 作者が二人のしんしの顔をもどさなかったことに賛成か、反対か。

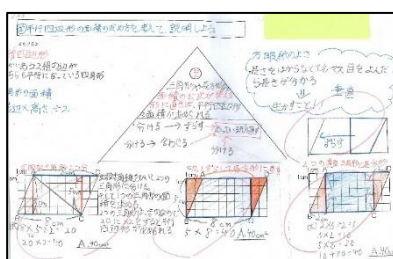
(2) 視覚的表現物 (思考ツール等)

〈考えを視覚的に整理する〉



付箋紙やカード
→書く内容の精選化

〈交流意欲を高める〉



表現物の色や数、矢印等の工夫
→互いの考えに差異

〈考えの強化、新たな視点や考え方に気付く〉



コアマトリックス (ツール)
→多面的な捉え、深まり

(3) 振り返り

〈振り返る視点 ①自分や友だちのよさ ②次への学び〉



自分や友だちのよさ→学びの達成感

円の面積が半径×半径の約3.1倍になることが分かったよ。半径が他の長さでもそうなるのか調べてみたいです。

新たな疑問→次への学び



〈振り返りの方法 (シール)〉



自分のがんばりや伸びを自覚

3 研究の検証及び改善の手立て

- 日常から、課題づくりや視覚的表現物の活用を意識した授業に改善していくことで、児童の学習意欲が高まった。更に、表現物を介しての交流や、振り返りの場を意図的に設けることで、以前よりも考えを広げたり、深めたりすることができるようになってきた。
- 自ら問いをつくり、友だちとかかわりながら解決し、学びや成長を感じられるような児童を育てていけるように教科の特性や、個に応じた指導・支援の在り方を更に研究していく必要がある。

学級の友だちとの話し合う活動を通じて、自分の考えを広げたり、深めたりすることができますか。

